

2020年1月6日(月)

昭和電線ホールディングス株式会社

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、昭和電線グループの皆様に一言ご挨拶を申し上げます。

2019年を振り返ると当社グループにおいて大きな変化の年でした。ガバナンスをセグメント制に変更し、会社の枠を超えた各セグメントの強化を行ったことで、同じ分野で仕事をする人たちが集まってひとつの目標を達成するための議論ができるようになりました。また、経営指標に ROIC を導入して各事業の稼ぐべき目標を明らかにするとともに、厳しく事業性評価を行いました。昨年11月5日には中期経営計画「Change SWCC2022」ローリングプラン(2019)を発表し、当社グループの進むべき道を明確に示しました。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年です。世界中から多くのお客様を迎え、スポーツと我が国を十分楽しんでいただけることを願っています。しかし、当社グループの事業にとっては厳しい年となることは間違いありません。世界に目を向けてみても、米中貿易摩擦は一旦落ち着きを見せたとはいえ、中国経済の減速などにより設備投資だけでなく自動車産業などにも陰りが出ており、事業環境としては決して回復基調であるとは言えません。このような中で、事業改革の途中で2020年を迎えた当社グループとしては、一層強い危機感をもってこれからの「Change」を加速させていかなければなりません。会社価値を高め、持続的成長を続け、市場からも評価される会社となるには、社会環境や展望に合った会社変革をグループ一丸となってたゆまず進めていくしかないことを、改めて皆様の心に留めていただきたいと思います。

最後に、最も大切な「安全」の取り組みについて申し上げます。

本年度から当社にCSR推進部を作り、安全、品質、環境をグループ全体で推進する体制を構築し、「安全はすべてに優先する」の精神のもと、グループ一丸となって災害撲滅に取り組んでいます。安全対策には特効薬はないかもしれませんが、危険に対する指摘には真摯に耳を傾け、ラインを止めてでもその対策を打つことが必要であること、何より働いている皆様の健康、安全が第一であることを再度認識いただき、今年こそは対策の効果があつたといえる年にしたいと思います。

今年が2020年。新しい十年が始まります。本年を、当社グループにとって真の改革の年とするよう、一致協力して前に進んでまいりましょう。これからが我々の力が試されるときです。必ず大きな変革を成功させ、次の発展に向けて歩みを進めていくことができると信じております。

以上

昭和電線ホールディングス株式会社
代表取締役社長 長谷川 隆代

【本件に関する問い合わせ先】

昭和電線ホールディングス株式会社 事業戦略統括本部 経営企画部 TEL044-223-0520